

議 平生町
議会だより

第 113 号
2009年10月23日

発行：平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者：福田 洋明
編集：議会広報広聴調査特別委員会



ゴール目指して、よ～いドン!! (平生幼稚園)

9 月
議会報告
いっぱい質問

定例会	2ページ
臨時会	3ページ
いっぱい質問	4ページ
研修報告	9ページ



平生小改築始まる

平成21年第6回平生町議会定例会が、9月14日から25日までの12日間の日程で開かれました。

9月議会は、20年度の決算認定議会であり、予算が効率的に、また有効に使われているか審査します。上程された議案は、補正予算5件、条例1件、認定12件、同意1件の計19件です。いずれの議案も全会一致または賛成多数で承認しました。一般質問では5人の議員が登壇し、町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

平成21年度補正予算 2億3325万円を追加

平成21年度一般会計は2億3325万円を追加補正し、予算総額は5億1548万円となります。

主な歳入

- ▽地方交付税 3249万円増額
- ▽県支出金 3993万円増額
- ▽繰越金 7754万円増額

主な歳出

- ▽町財政基金積立金 5572万円増額
- ▽国民健康保険特別会計 財政安定化繰出金 1088万円増額
- ▽海岸保全測量設計委託料 3263万円増額
- ▽平生小学校解体、プール解体工事請負費 4620万円増額

実質公債費比率 19.6% 平成20年度 歳入・歳出決算を認定

ています。

また、実質単年度収支は6916万円の黒字となっています。

これは、基金への積立額が取崩し額を5936万円上回ったことが主な要因です。

財政基金への積立金は53・2%増額となっています。この結果、平成19年度末基金残高から5936万円増額し、基金残高は2億2887万円となっています。

起債残高については3億4037万円減少となっています。

数値的には昨年度よりも改善がみられますが、依然厳しい財政事情であることに変化はなく、継続して行財政改革を進める必要があります。

また、実質公債費比率は19・6%となっており、19年度に比べ0.4%上昇しています。

※実質公債費比率とは（普通会計・公営企業会計及び一部事務組合が起こした地方債の償還に充てたと認められる負担金等を統合して算定）

平成20年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が47億7350万円、歳出総額が46億4613万円で、差引き1億2737万円となり、繰越明許費繰越額1982万円を除いた実質収支額は1億754万円となりました。

歳入歳出総額を平成19年度と比較すると、歳入0.1%減、歳出0.7%減と、それぞれ減額決算となっており、歳出額の減少により実質収支額は9.6%増加し

委員会審査報告

総務厚生常任委員会

平成21年9月14日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月16日に慎重に審議しました。

その結果すべてを全会一致で承認しました。

いる段階であり、本町における影響は未定です。

決算

質 法人町民税の不納欠損の理由は。

答 6件の倒産があり税法に基づいて不納欠損処理をしました。

質 一般管理費の負担金補助及び交付金の不用額が大きいのが、12月に補正し他の財源に充当できないか。

質 政権が変わり、国の補正予算凍結も予定されているが、影響は。

答 国において精査して

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について9月18日に慎重に審議しました。

処理費用に3320万円。整地については盛り土180万円、工作物移転一式220万円です。

決算

補正予算

質 学校建設費で、普通教室棟解体・整地の内訳は。

答 予算額3720万円のうち、解体と産廃

質 有害鳥獣捕獲対策で、駆除する猟友会の人数は。

答 20年度は、禁猟期間に駆除許可を7回出しており、延べ人数は41人です。

質 水道料金低減対策事業で、高料金対策の期限が迫っているが、その対策は。

答 広域で協議会をつくり、県への働きかけを行います。

質 小学校、中学校費の就学援助費について19年度より金額が増えているがなぜか。

答 対象人数の増によるものです。

第5回

臨時会

平成21年第5回平生町議会臨時会が7月15日に開かれました。

提出議案は、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、事件1件です。

補正額は、4億428万円です。

今回の補正予算は、国の経済危機対策の一環として、地域活性化事業、平生小学校の改築事業、子育て応援特別手当事業、女性特有のがん検診推進事業となっています。

すべて全会一致で可決しました。

教育委員会委員

任命に同意



藤山 美代子さん

教育委員会委員の任期満了に伴ない1期4年間活躍をしてこられた、藤山美代子さんを再任することに同意しました。

これから4年間の活躍を期待します。



淵上正博 議員

いっぱん質問

General in **いっぱん** が聞きたい



Q. 新型インフルエンザ対策は

A インフルエンザ対策本部を設置する



利用者の多い休日夜間応急診療所

Q 新型インフルエンザは、国民の2割が発症すると想定している。当町でみると2700人の町民が発症すると想定される。

1. 山口県教委は、インフルエンザが疑われる児童、生徒が出た際の臨時休業の基準を緩和したが、当町の考えは。

2. 柳井地域休日・夜間応急診療所の救急体制の対策は。

A 1. 教育長
従来の基準は2名だったが、新基準では「疑いのある生徒」を含め10%となった。学級の生徒数30人なら3人で、特に緩和されたとは思っていない。

2. 町長
事前に電話で病状説明し、診療所の外で簡易検査。陽性なら別の入り口から入所してもらう。現在陽性者はゼロ。町としてはインフルエンザ対策本部を設置し、町内に4回にわたり啓発してきた。

Q. 八海ため池. 埋めたてを問う

A 排水対策とあわせて再検討する



埋めたての計画された八海ため池

Q 八海ため池残土埋めたてについて、次の2点を問う。

1. 町内の豪雨時冠水対策として、八海ため池を埋めたてののではなく、遊水池として活用すべきと思うが、町の考え方は。

2. ため池には、11種の絶滅危惧種が生息している。

A 1. 町長
八海ため池はそばを流れる中川の方が水位が低く、遊水池としての利用は難しい。この周辺はゼロメートル地帯で、熊川、大内川の排水工事による冠水対策が急務。この排水対策とあわせて考えていく。

2. 絶滅危惧種11種と報告したが、正確には準絶滅危惧種11種。今後、環境面への活用を検討する。



平岡正一 議員

Q. 新しい時代に向け体制の強化を

A 政策能力を高めていく

Q 総選挙の結果、政権交代という画期的な出来事があった。前回は自民党、今回は民主党の大勝利の形になっているが、前回は「郵政改革」と、今回は「脱官僚政治」と、公務員制度に対する厳しい目が底流にあると思う。改革が必要だ。町長の感想はどうか。また地方分権の受け皿として町の取り組みも求められるし、人材の育成も重要な課題となる、町の取り組みはどのようになっているか。



A 町長 本格的な政権交代は初めてであり、お互いの政党の切磋琢磨により政権交代が政治の質を高めるきっかけになれば良い。今後、地方分権が進むにつれ、受け皿としての地方自治体の政策能力を高めないといけない。当町は平成14年に職員人材育成基本方針を策定。これを徹底し、今後、人材育成に計画的に取り組んでいく。

Q. 親切的な行政へ「申請主義」「書類行政」の改革を

A 親切に対応する



親切的な対応が求められる窓口

Q 弱い立場の町民を行政が支援をする各種の制度があるが、「どんな制度があるのか」、「自分が利用できるのか」十分に知らされていないために、利用できる制度が利用されないケースがある。一方、行政の側は申請がないと対応できないとして「申請主義」を貫く。該当者にはもつと周知する親切的な行政運営をすべきだ。次に申請をしようとすると、莫大な書類の提出を求める「書類行政」も改善すべきだ。

A 町長 法律や条例で、申請手続きによって行政処理する決まりになっている。住民にどのような書類が必要かといった情報を親切に提供するよう努めていきたい。制度によって手続きがなぜ異なるのか研究もしてみたい。どのような制度があつて、それを利用できるのかどうか、それが最良な対処方法かにつき、親切に説明するよう職員に指示する。



柳井靖雄 議員

Q. 平生小学校設計業者選定の経緯は

A 会社名を伏せ評価した



解体される教室棟

Q 1. 平生小学校の設計業者選定の経緯を問う。
 2. 広島に業者を決めた理由は何か。
 また、危機管理の面から町長の長期不在は報告すべき。安心・安全のまちづくりとはかけ声ばかり、町民無視ではないか。
 3. 先の一般質問で、県内業者を優先すると答弁したが責任を感じているのか。長期不在も、緊張感がないか。

A 町長
 1. 大手5社と県内事業所の登録を有する5社を指名し、提案をいただいた。
 町長以下7名で、会社名を伏せ各自で評価し、総合点が一番高かった業者に決定した。
 2. 1社が広島で、結果的に選ばれた。審査、選定は公正に行われ、たまたま広島であるが、県内業者と認識し対応した。
 3. 不在の件は大変申し訳なく、気をつけたい。
 業者選定は、地元でできることについては、地元で発注していく。

Q. 平生小学校建替えの今後は

A 対応できるものは地元へ発注する

Q 1. 平生小学校建設について、どのような基準で指名審査会が入札業者を指名するのか。
 2. 地場産業の育成、景気浮揚につながるという考えを基準に入れるか。
 3. 何十年に1度の事業なので地元で雇用、物品の販売につながる、血の通った温かみのある行政、せめて地元産業の資材をくまなく使える仕様にするなど十分な配慮は。

A 町長
 1. 審査会は町長、副町長、総務課長、建設課長の4名で設け、入札に参加させる者の選定や、不正行為に対する処理等を審査している。
 2. 指名基準に基づいてできるだけ地元業者で対応できるものは地元へ発注する。
 3. 地元事情等々十分配慮しながら、やれるところは地元でやっていく。



地元業者への配慮が求められる改築工事



田中 稔 議員

Q. 町政運営の基本方針について

A 5本の柱を優先的に対応する

Q 当町の急速な高齢化、中・長期的な経済情勢の流れを見ると、今こそ確とした対策が必要。そこで以下の3点について聞く。

1. 当町の将来像をどう見ているか。特に財政見直し、人口構成、産業動態等

2. 今後の財政需要は増加の一途であろう。歳出の予算配分の優先順位はどう考えるか。

3. 歳入増に対する町長の取り組みの戦略は？



荒廃が進む田畑

A 町長

1. 地方の財源、地方分権はまだ不透明だ。問題は担い手をどう確保していくかであり、高齢化社会が進む中、地域で支え合い、助け合っていく社会の仕組みをつくっていく。

2. 町の予算編成には、5本の柱を立て優先的に対応している。

1 町民との協働
2 安全・安心のまち
3 未来を担う子供たちを育む
4 活力あふれる躍動するまち
5 持続可能なまちづくり

3. 期待できる財源についてははっきり確保していきながら将来の活性化につなげていく努力をしていく。

Q. 第四次行政改革大綱について

A 進ちよく状況をチェックしている

Q 本大綱の実行最終年度は平成21年度。そこで次の点について聞く。

1. 人事考課制度の導入及び町立保育園のあり方検討の進ちよく状況は。

2. 本大綱は4年計画であり、最終年度の21年度になっても「継続調査」が多い。重要案件ほど早期着手、早期成果が必要。このような計画の進ちよく管理は着実に行われているか。

A 町長

1. 人事評価については、まだ実施に至っていない。今、素案のたたき台をつくって協議をしている。

町立保育園のあり方を検討する庁内会議を7月にスタートをさせた。

2. 平成18年度から現在までの進ちよく率は83%の状況である。

行政改革推進本部で年度末に進ちよく状況について集約し、チェックを行っている。



第四次平生町行政改革大綱



細田留美子 議員

Q. 子供たちに豊かな体験を

A 学校、地域との連携をはかる



ボランティア活動に取り組む生徒

Q 夏休みに開催された「あいあむフェスタ」で、小・中学生が募金やあと片づけに先生とともに楽しそうに汗を流していた。

熱心な校長先生に恵まれて、いま、ボランティア教育の土台を作るチャンスだ。

学校の現状と教育長の方針を聞く。

子供たちの興味に合わせた多種のメニューを用意しての活動支援は考えられているか。

A 教育長

平生小学校においては、車いす、アイマスクの体験学習とあわせて点字の学習に取り組んでいる。

佐賀小学校の取り組みは、ほのぼのセンターの交流会、花いっぱい運動に取り組んでいる。

学校、地域と横の連携を図りながら、子供たちのボランティア活動の充実に努めていく。

Q. 計画的なスポーツ振興を

A 指導者の育成に取り組む

Q スポーツ振興を通じて子供の体力向上や、部活の支援、住民の健康増進や仲間づくりなど、地域におけるスポーツ環境の整備はされているか。

計画的に進めるためには計画書が必要だがその考えはあるか。

スポーツで町おこしをしているグループも町内にある。

親子の関係づくりを初め、スポーツを通じて地域の課題を解決していけないか。

A 町長

スポーツ振興プランを策定して取り組むと第三次総合計画にうたっているが、残念ながら計画の策定に至っていないのが現状だ。

しかし、町民スポーツ総参加運動ということで各種大会、指導者の育成等一生懸命取り組んでいる。

スポーツを通じたまちづくりは、大切だ。これからできる限りのことをしていきたい。



サッカーを楽しむ子供たち

研修報告

学校耐震化とまちおこしを研修

産業文教常任委員会議員研修

地方議会の運営と改革

議員研修

平生小学校の耐震化が本年度に前倒しされたこともあり、先進地視察を行いました。あわせて、町の活性化に成功している元気な田舎の視察を8月17日から19日の日程で行いました。

17日は、徳島県松茂町で耐震化を研修しました。

県内でもいち早く取り組まれ、平成16年度に開始し、平成20年度に校舎部分は完了。現在の耐震化率は74%で、大規模改修においては、非常呼び出しシステム等の安全対策を積極的



に行われ、児童、生徒の安心安全の強化がされていきました。

18日は、徳島県上勝町へ「はっぱ」ビジネスを研修しました。異常寒波に襲われ、主要産業の農業は破壊的な打撃を受けたこと



を契機にまちづくり運動が進み、「はっぱ」ビジネスが誕生しました。また、ごみゼロ宣言も行い、全国的にも注目されています。

都会を初め全国の料亭等へ料理に添える「つまもの」としてを販売しています。

現在、2億6千万円を販売し、年収1千万を越える農家もあります。



80歳を越えた高齢者が、パソコンを駆使し出荷計画を立てるなど、脳力アップが認知症の予防にもなっています。

19日は高知県馬路村へゆず加工による町おこしを研修しました。

信号もコンビニもない人口1千人の小さな山村です。ゆずの生産から加工、直販を行い年商は32億円です。観光面でも温泉を運営し、バラ風呂を企画するなど、集客のための仕掛けを行っています。

今回の研修で共通する事は、担当者の熱意や情熱が地域の人々を動かす町の活性化につながっていることです。



柳井地区広域市町議会議員研修会が7月14日、「議会運営について」と題して、柳井クルーズホテルで開かれました。また、町議会実務研修会が7月31日、「地方議会の運営と改革について」と題して山口市のセントコア山口にて開かれました。

両研修会共に、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を講師にむかえ、詳しくお話していただきました。



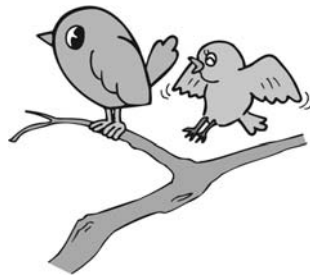
議員の役割と使命、本会議の役割、委員会、議会の改革、議会事務局の充実についてなど多くの事柄について、経験を踏まえた、わかりやすく、かつ、内容の濃いものでした。

今回の研修会は、任期を折り返した私達にとって、後半の2年間、住民の皆さんにわかりやすく、目に見え、感じる議会運営をしようというため、大変参考になりました。

様々な面で厳しい時代ですが、気を引き締めて議員活動をしてまいります。

投 稿 コ ー ナ ー

小雀と
過ごした日々



屋根の下に雀が巣をつくり、かわいいうめき声が聞こえていました。

ある朝、小雀が巣から落ちて庭で遊んでいるのです。せいぜい数センチ飛び上がる程度です。出掛けて帰宅した時も草木の中に入れて、そこに親雀が虫をくわえて

来て与えていました。

しかし、いずれカラスや野良猫の餌食です。

柿の木に小雀のお部屋を作る事にしました。

プラスチックの鉢の底に切ったわらを敷き、小雀を入れて柿の木の小枝にぶら下げました。

なんと、利口な親雀。強い風で鉢が大揺れしているのに、数回挑戦してふちにとまり餌を与えていました。

小雀は伸び上り何度もとに落ち、そのたび、巢へ入れてあげました。

夕刻に行ってみると、見当たらないのです。その上、翌日は雨でした。もう、諦めていたのです。

次の日、柿木の6〜7メートルくらいの上の小さな

枝に止まっています。

そこに親雀が餌を運び与えていました。

初めて出会えた時に尾が1センチくらいだったが、4日目には倍になり三角の形をなしてきました。昼頃には「ピーピー」、「ピーピー」鳴き騒いでいました。

親雀が「ガンバレ」、「ガンバレ」と言っているようでした。

その内、親雀が飛んでいくと、後を追うように小雀が思いつきリサツと飛び立ちました。

人間が触った小雀は、親に見捨てられるのではと思っていました。

大変に嬉しく感じる出来事でした。

平生村 林 捷子

◆原稿募集◆

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内 ・ 締切日 平成21年11月30日
 - ・ 提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
- 紙面の都合で一部変更することありますが、ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

議会の動き

(H21・6/18～H21・9/6)

6月18日～6月25日

第4回定例会

6月18日

議会広報広聴調査特別委員会

6月25日

議会運営委員会

議会全員協議会

6月30日

議会広報広聴調査特別委員会

7月7日

議会広報広聴調査特別委員会

7月8日

議会全員協議会

7月14日

柳井地区

広域市町議会議員研修会(柳井市)

7月15日

第5回臨時会

議会広報広聴調査特別委員会

7月31日

町議会実務研修会(山口市)

8月6日

産業文教常任委員会

8月17日～8月19日

産業文教常任委員会視察研修会(徳島県・高知県)

8月20日

産業文教常任委員会

8月21日

総務厚生常任委員会

8月27日

議会運営委員会

8月28日

郡議会広報連絡協議会総会(上関町)

9月4日

議会全員協議会

編集後記

バトンの受け渡し

運動会参観の楽しみは、リレー競走のバトンの受け渡しを見ることだ。変動する順位にも興奮するが、私はリレーゾーン内でのバトンの受け渡しを見るのが一番好きだ。

前走者の第3コーナーでの順位を確認し、内に外に位置取りを変える次走者の動き。右手で、左手でバトンの受け渡しを行う選手たち。上から受け渡しを行う選手もいれば、下から行う選手もいる。わずかな間だが、バトンの受け渡しが失敗すると、一気に最下位になる可能性が大なのがりレーゾーンでの受け渡しなのだ。

私が好きな最大な理由は、想像以上にち密で、お互いをよく理解して行かないといけないと思いがあふれていた。受け渡しはつまらない。

さて、我家でもそろそろ息子にバトンの受け渡しを行う時期。一緒に練習を始めようかと思う、秋の頃だ。

河内山 宏充